



## みなさん、こんにちは！ 約5年振りにニュースを発行しました！



### ★ これまでの取組みの経緯について ★

★「鎌倉芸術館周辺地区まちづくり協議会」（以下、「まちづくり協議会」）は、平成9年1月に発足しました。地元市民を中心に、企業、学識経験者、市などで構成する「まちづくり協議会」は、より良いまちづくりの実現に向けて活動を続けています。

☆平成10年3月、「ハートとアート～人にやさしく、人を育てる新しい大船～」として「まちづくりの方針」を策定し、以後これをもとに様々なまちづくりの成果を実らせてきました。

★主要なまちづくり事業の1つである、「砂押川プロムナードの整備」



▲砂押川プロムナード

については、平成13年度に県補助事業を活用した整備が行なわれ、大船郵便局の上流の地域生活道路約132mでプロムナードが整備されました。また、平成11年2月、まちづくり協議会の下に「砂押川プロムナード検討部会」を発足させ、栗田湯から砂押橋に至る第2期整備区間（約270m）についての「整備方針案」を提案しました。



▲まちづくりの方針

☆鎌倉女子大学（以下、「女子大」）が松竹跡地に新キャンパスを計画するにあたっては、大学と地域の共生を目指す観点から、大学、学識経験者、市で構成する「鎌倉女子大学を中心としたまちづくり構想会議」を設置し、まちづくり協議会と連携しつつ、平成12年9月、「鎌倉女子大学大船キャンパスのまちづくり基本方針」をまとめました。その後、この基本方針に基づきキャンパス建設が行なわれ、女子大の協力を頂きながら大学敷地沿いの約150mの砂押川プロムナード整備や、主要なまちづくり事業の1つである「南北補助幹線道路の整備」の一部（約220m）を実現するなど、キャンパスを中心とした土地利用誘導に大きく貢献してきました。



▼南北補助幹線道路

★平成13年8月には、「地区計画」の策定が行われ、平成14年7月には、地区にふさわしい良好な景観づくりのため、女子大、松竹、大船中央病院、三菱電機等の大規模敷地を中心とした区域に鎌倉市都市景観条例による「景観形成地区」の指定も行なわれました。

☆そして、このような、市民参画のまちづくり活動とその実現の取組みが評価され、平成14年6月には、「まちづくり月間の国土交通大臣の表彰」を受けました。



▼まちづくり功労賞の受賞

第20回まちづくり月間国土交通大臣表彰式  
国土交通省・まちづくり月間実行委員会

★また、主要なまちづくり活動でも、平成 15 年 4 月、女子大、企業の協力を得て、商店街、町内会主催で開催された「大船まつり」の企画提案を行なうなど、新しいコミュニティによるイベントのあり方をも模索してきました。

☆このように、取組みの成果を实らせてきた、まちづくり協議会ではありますが、**具体化の着手に至らなかった計画**もあります。まちづくりの方針「**ハートとアート**」で「**地域の顔である鎌倉芸術館が小袋谷笠間線から見えるような広場空間を確保する**」としていた場所に、平成 16 年度にマンションが建設されました。これは、地区計画から外れていた敷地であったため、制度的対応が難しく、行政で土地を確保出来ず、また、主要なまちづくり事業の 1 つである「**アーバンモール（水と緑の歩行者空間）**」（3 頁を参照）の具体化計画が不確定であったことが原因であると考えられます。

★こうした背景のもと、「まちづくり協議会」の委員有志で

「**作業提案部会**」（以下、「**部会**」）が、平成 16 年 12 月に発足し、これまでの地区における取組みを評価しつつ、その後の変化に合わせた実現性の高い計画を再構築する目的で約半年間、7 回の部会を開き、検討を行なってきました。

☆まず部会では、**これまでの取組みの評価**を行いました。（部会での意見を紹介します！）

#### 【評価できる点】

- ・ まちづくり功労賞（国土交通大臣）を受賞した。
- ・ 鎌倉女子大学の土地利用を誘導（プロムナードの整備などを実現）できた。

#### 【課題と考えられる点】

- ・ アーバンモール構想が未確定であったため、鎌倉芸術館前の広場空間を確保できなかった。既に 17m への小袋谷笠間線の拡幅は現実的でなく、見直しが必要。
- ・ 大半が準工業地域であり高い建物が建つ地域である。土地利用等の誘導と情報把握の仕組みを備えておきたい。
- ・ 腰越大船線の大船立体の架け替え（平成 26 年度目標）後、駅前の混雑緩和のため、小袋谷笠間線の整備及び横浜市側の道路整備の有用性は高まる。
- ・ 夢の計画（=ハート&アート）を市民参加で立案したが、実現のための制度設計ができていなかった。
- ・ 有効な手法として地区計画や建築協定があるが、いずれの手法も地権者の合意形成が必要。まちづくりの方針の実現を行政に任せてしまうのではなく住民の主体的な取組みが不可欠。
- ・ より良いまちづくりを進めるためには、企業や女子大と地域が共生する取組みが必要。

★そして、部会では検討の結果を「**アーバンモール実現に向けた提言（案）**」として取りまとめ、平成 17 年 11 月 21 日の第 25 回まちづくり協議会で案の内容を説明しました。まちづくり協議会では、この提言の内容が沿道の土地利用に係わることから、**今後、地元町内会や小袋谷笠間線の沿道にお住まいの方、関係企業等に説明し、意見を聞きながら内容の確定をしていくこと**となりました。

※詳しい内容については、『**提言書（案）－概要版－**』をまちづくり協議会事務局（鎌倉市大船駅周辺整備課）、大船支所内のまちづくり情報コーナーで配付します。また、平成 18 年 4 月からは鎌倉市のホームページでもご覧頂けるようにする予定です。

ホームページアドレス：<http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/>



▲大船まつりでのパレード（芸術館通り）



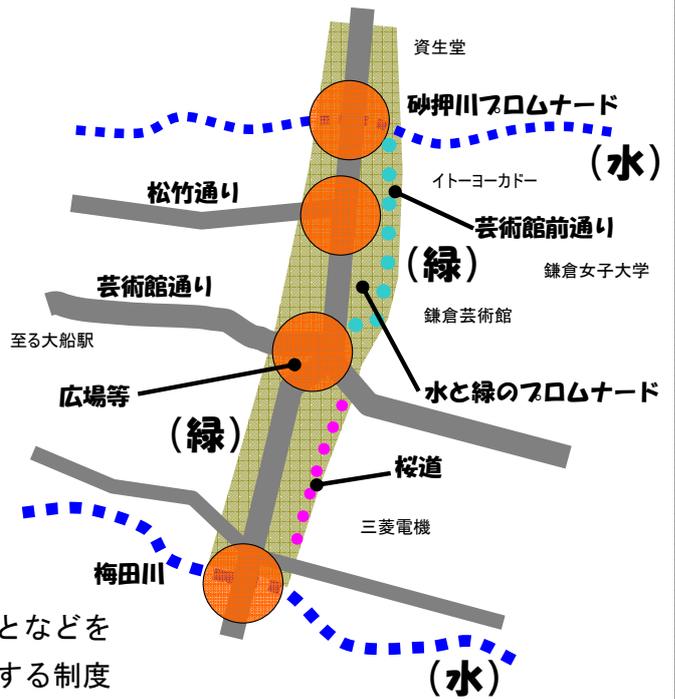
▲小袋谷笠間線沿道でのマンション建設

# ★アーバンモール★ (水と緑の歩行者空間) の創造とは…

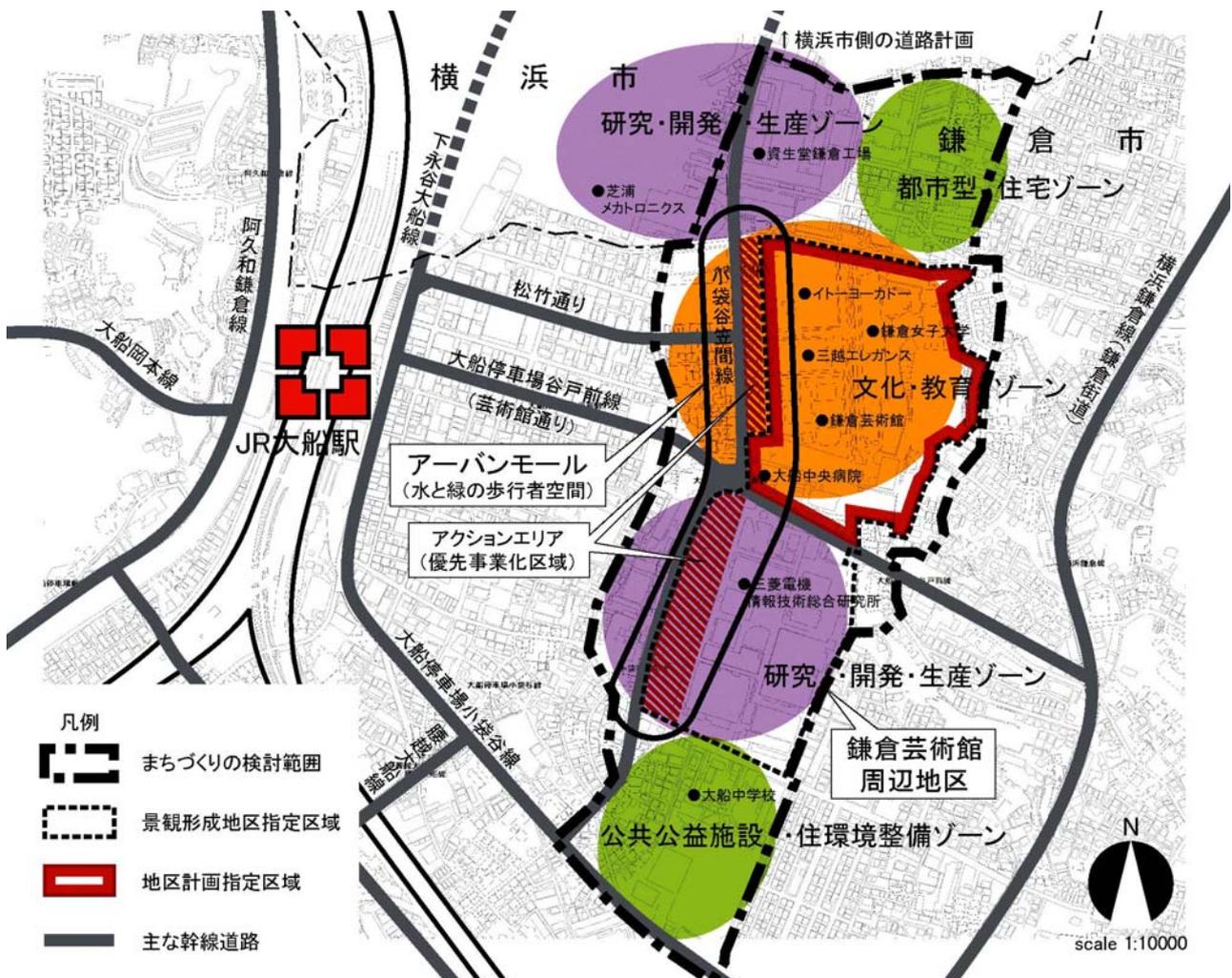
☆まちづくりの方針（平成10年策定）では、都市計画道路の小袋谷笠間線を17mに拡幅し、『ゆとり』のある歩道を確保しつつ、沿道には市民利用施設等を誘導し、『潤い』と『賑わい』を創出することを計画しました。

★しかし、その後、沿道では建築行為が進み、周辺の状態も変化したことから、今回、部会では、現状に即した提案を検討し直すこととしました。提言書（案）では、松竹前交差点の改良や建築行為にあわせた公開空地の確保による歩行空間の確保、通りの無電柱化を進めることなどを提案しています。また、その整備の具体化を担保する制度として都市計画法の地区計画などの活用を提案しています。

## 【 ▼ アーバンモールの考え方 】



## 【 ▼ 鎌倉美術館周辺地区のまちづくり検討図 】



## ★提言書(案)について★

☆まちづくり協議会では、「アーバンモール（水と緑の歩行者空間）の創造」の実現に向けた検討内容を『提言書（案）』にまとめました。この提言（案）は、あくまでも、まちづくり協議会で考えたまちづくりの姿をまとめたもので、まちづくり協議会からの提案です。（内容は現在、検討中です！）

☆まちづくり協議会では、今後、地域の方々と話し合いの場を設けるなど、地域のみなさまから意見を伺いながら、実現に向けて取組みを進めていきたいと考えています。

みなさんのご意見をお寄せ下さい！  
宜しく願い致します！



## ★今回のニュース発行の経緯について★

前回、まちづくりニュース Vol. 14 が発行されてから、約5年振りに発行することになりました。初めてご覧になる方や懐かしく感じられる方、様々だと思えます。

鎌倉芸術館周辺地区まちづくり協議会は、現在も活動を継続しています。本来、その状況について地域の方々へ適宜、まちづくりニュースを発行し、情報提供を行なわなければならないのですが、随分長らくお休みをしてしまいました。お詫び申し上げます。

今回、前述のような契機を得て、これまでのまちづくりの評価を行ない、主要なまちづくり事業の1つである「アーバンモールの創造」について提案書（案）を取りまとめました。

この提言書（案）は小袋谷笠間線沿道での今後のまちづくりの提案であり、その具体化には沿道にお住まいの方、関係企業など、地域の方々の理解と協力が必要です。そこで、地域のみなさんに現在の取組み状況をお伝えし、地域の方からもご意見・ご要望を頂きたいと考え、ニュースの発行を再開することとしました。

## ★問合わせ先★

《まちづくり協議会事務局》

大船駅周辺整備課（〒247-0056 大船2-7-8）

電話 0467-45-3970

FAX 0467-47-3029

E-mail [ofn\\_ard@city.kamakura.kanagawa.jp](mailto:ofn_ard@city.kamakura.kanagawa.jp)



ご意見等お寄せ下さい。宜しく願い致します！

